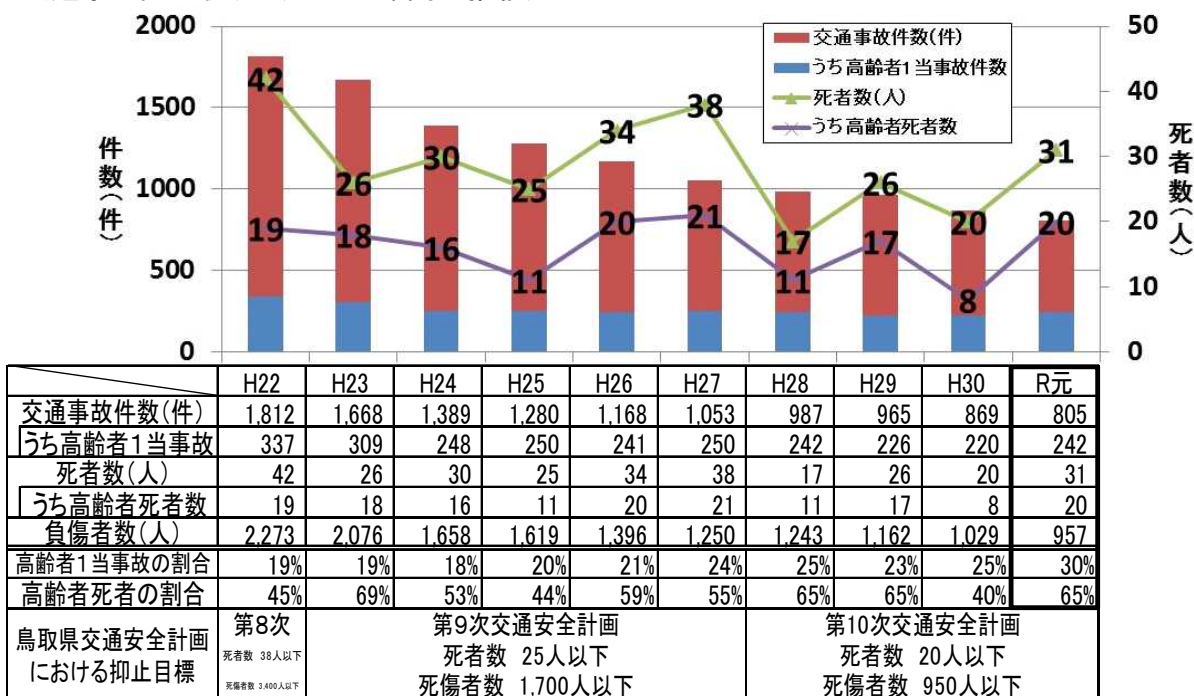


1 交通事故発生状況（過去10年間の推移）

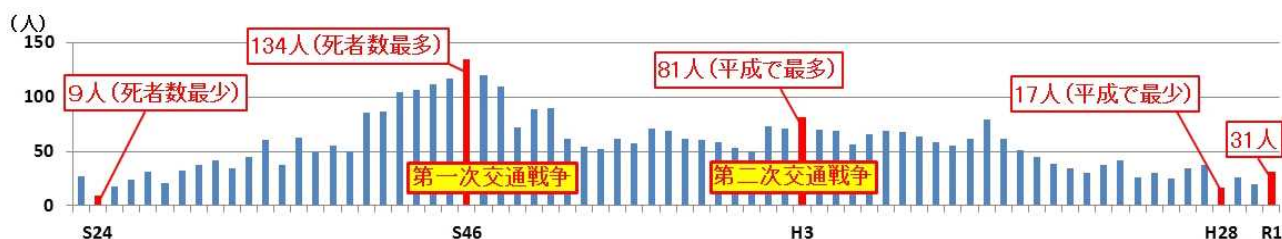


【令和元年の特徴】

- 死者数は前年比11人増加したが、件数及び負傷者数は平成17年から15年連続で減少
- 高齢者が第1当事者となる交通事故は、前年から5ポイント増加
- 高齢者死者数は20人（65%）と、前年から大幅に増加
- 飲酒運転による死亡事故が2件発生

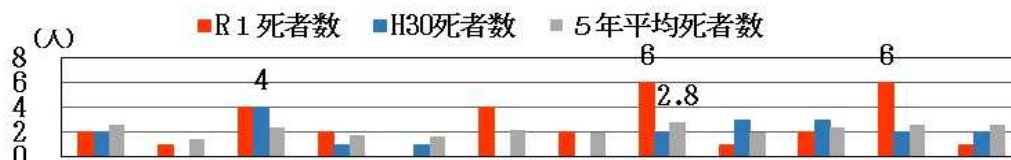
2 交通死亡事故の発生状況

(1) 死者数の推移



- 令和元年の死者数31人は、死者が最多の昭和46年（134人）と比較して77%減少
- 人口10万人当たりの死者数は5.54人と、全国平均2.54人と比較して高く、全国ワースト2位

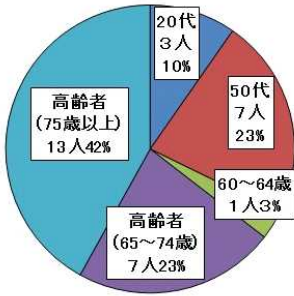
(2) 月別死者数



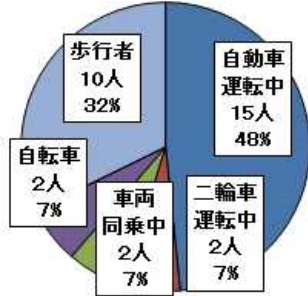
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R1死者数	2	1	4	2	0	4	2	6	1	2	6	1	31
H30死者数	2	0	4	1	1	0	0	2	3	3	2	2	20
5年平均死者数	2.6	1.4	2.4	1.8	1.6	2.2	2.0	2.8	2.0	2.4	2.6	2.6	26.4

- 令和元年は、統計を取り始めた昭和23年以降初めて、5月中の死亡事故の発生なし
- 3月、6月、8月及び11月に死亡事故が連続発生し、交通死亡事故多発警報が発令

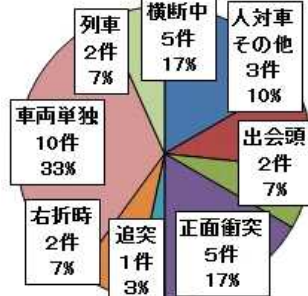
(3) 年齢別死者数



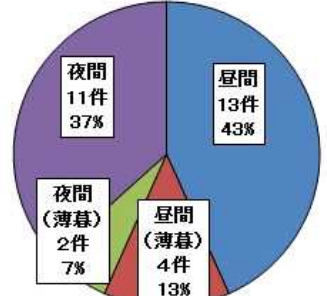
(4) 状態別死者数



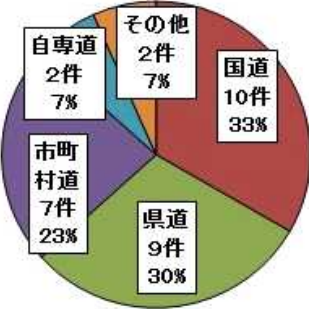
(5) 事故類型別件数



(6) 昼夜別件数



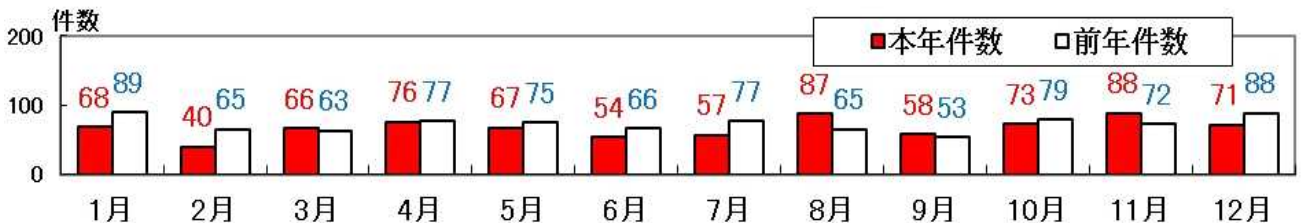
(7) 路線別件数



- 年齢別：高齢者が20人（65%）等、50代以上が28人（90%）を占める
- 状態別：自動車・二輪車乗車中が19人（61%）を占める
- 事故類型別：車両単独が10件（33%）と前年（8件（42%））に続いて最多
- 昼夜別：薄暮時間帯に6件（20%）発生
 - ※ 薄暮時間帯とは、日没前後1時間（合計2時間）をいう。
- 路線別：国道、県道及び自専道の幹線道路で21件（70%）と多発

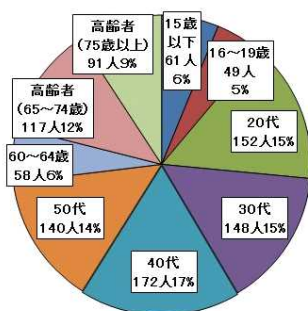
3 交通事故の発生状況（死亡事故を含む）

(1) 月別発生状況



- 令和元年は11月に88件（11%）と最多、次いで8月に87件（11%）

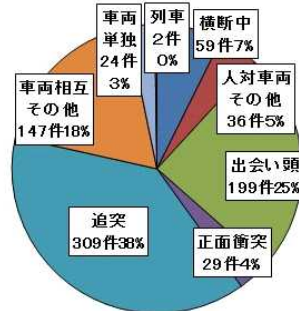
(2) 年齢別死傷者数



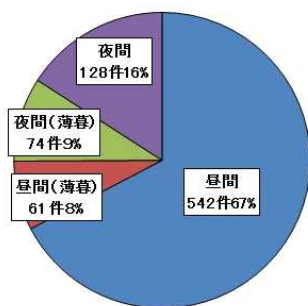
(3) 第1当事者の年齢別件数



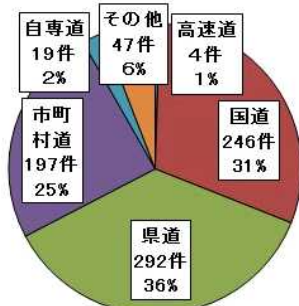
(4) 事故類型別件数



(5) 昼夜別件数



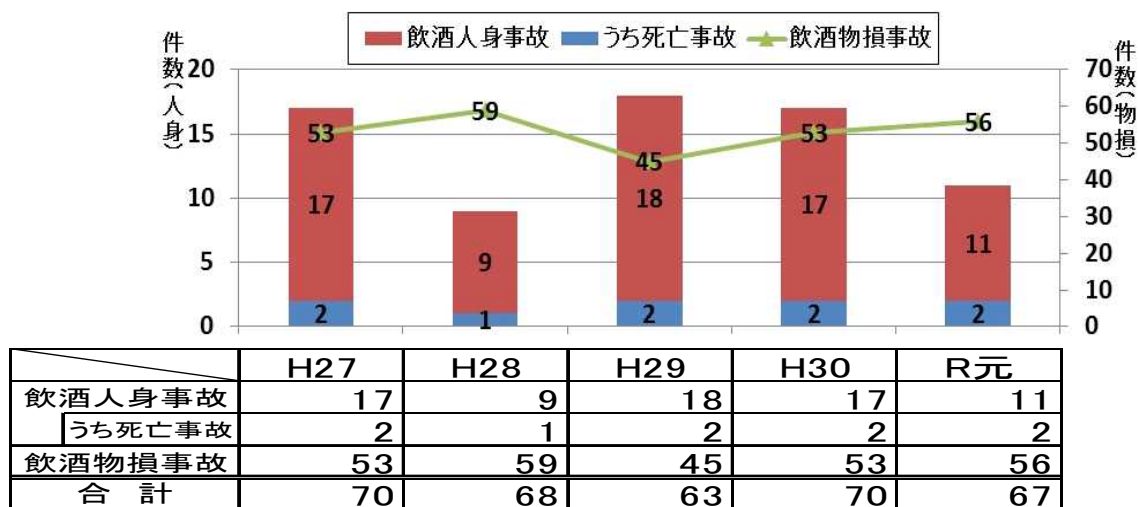
(6) 路線別件数



- 年齢別：高齢者が、死傷者は208人（21%）、事故の第1当事者は242件（30%）を占める
- 事故類型別：追突が309件、出会頭が199件と両類型で事故の6割以上（63%）を占める
- 昼夜別：薄暮時間帯に135件（17%）と多発
- 路線別：国道、県道等の幹線道路で561件（70%）発生

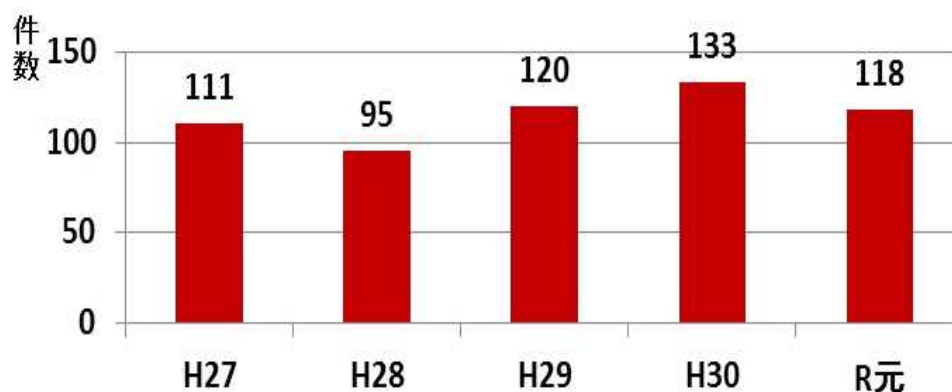
4 飲酒交通事故、飲酒運転取締り状況

(1) 飲酒交通事故発生状況



○ 飲酒を伴う交通事故総数は前年から減少し、令和元年は人身事故が11件（前年比－6件）、物損事故が56件（前年比＋3件）の合計67件発生

(2) 飲酒運転取締り状況



○ 飲酒運転の検挙件数は前年から減少し、令和元年は118件を検挙（前年比－15件）